

## 目次

はじめに	1
<b>I 教育委員会の概要、会議運営等</b>	
1 教育委員会の職務	2
2 教育委員会組織	3
3 教育委員会関連経費	4
4 教育委員会の会議運営状況	6
5 教育相談の実施状況	16
<b>II 点検・評価</b>	
1 点検・評価の対象と方法	
(1) 点検・評価の対象	18
(2) 点検・評価の方法	19
2 前年度の課題の改善状況	
(1) これまでの教育委員会の点検・評価で明らかになった課題	20
3 点検・評価の結果	
(1) 教育委員会の会議運営	24
(2) 教育委員会が管理及び執行する事務 〈執行状況〉	28
(3) 総合計画を推進するための取組	45
<b>III 評価委員会からの意見</b>	
1 点検・評価の対象と方法について	55
2 点検・評価の結果について	55
<b>IV まとめ</b>	
1 課題と改善策	
(1) 未解決となっている前年度の課題と解決策	57
(2) 評価委員会から指摘のあった課題と改善策	58
2 来年度の点検・評価に向けて	60

## 目次

はじめに	1
<b>I 教育委員会の概要、会議運営等</b>	
1 教育委員会の職務	2
2 教育委員会組織	3
3 教育委員会関連経費	4
4 教育委員会の会議運営状況	6
5 教育相談の実施状況	16
<b>II 点検・評価</b>	
1 点検・評価の対象と方法	
(1) 点検・評価の対象	18
(2) 点検・評価の方法	19
2 前年度の課題の改善状況	
(1) これまでの教育委員会の点検・評価で明らかになった課題	20
3 点検・評価の結果	
(1) 教育委員会の会議運営	24
(2) 教育委員会が管理及び執行する事務 〈執行状況〉	28
(3) 総合計画を推進するための取組	45
<b>III 評価委員会からの意見</b>	
1 点検・評価の対象と方法について	55
2 点検・評価の結果について	55
<b>IV まとめ</b>	
1 課題と改善策	
(1) 未解決となっている前年度の課題と解決策	57
(2) 評価委員会から指摘のあった課題と改善策	59
2 来年度の点検・評価に向けて	60

(57 頁から 59 頁)

#### IV まとめ

##### 1 課題と改善策

(1) 未解決となっている前年度の課題と改善策

###### 1) 非常勤職員の比率が高い幼稚園教諭の人員配置を是正する。

町当局との協議では、財政的理由等から正規職員の増加は難しい状況であります。今後は会計年度任用職員の比率が高い人員体制の中で、児童にとって充実した教育・保育の提供が求められます。

教育委員会ではこの幼稚園における教育・保育をより充実させるための人員配置について、協議していませんので、会計年度任用職員を対象とした資質向上のための体系的な研修の検討と併せて、幼稚園における教育・保育がより充実させるための人員配置について、協議してまいります。

2) 会議の住民への公開は、住民の権利でもあり、そのための更なる工夫が必要である。

今後、他市町村の事例等を参考にし、動画配信サービスによる公開も含めて教育委員会で具体的に検討してまいります。

(57 頁から 59 頁)

#### IV まとめ

##### 1 課題と改善策

(1) 未解決となっている前年度の課題と改善策

###### 1) 非常勤職員の比率が高い幼稚園教諭の人員配置を是正する。

町当局との協議では、財政的理由等から正規職員の増加は難しい状況であります。今後は会計年度任用職員の比率が高い人員体制の中で、児童にとって充実した教育・保育の提供が求められます。

教育委員会ではこの幼稚園における教育・保育をより充実させるための人員配置について、協議していませんので、会計年度任用職員を対象とした資質向上のための体系的な研修の検討と併せて、幼稚園における教育・保育がより充実させるための人員配置について、協議してまいります。

2) 会議の住民への公開は、住民の権利でもあり、そのための更なる工夫が必要である。

今後、他市町村の事例等を参考にし、動画配信サービスによる公開も含めて教育委員会で具体的に検討してまいります。

3) 学校の評議員は、学校と家庭・地域との「架け橋」を担っていると言っても過言ではないと考える。そのために、アンケート結果からの課題に対して、教育委員会と各学校が連携し、課題解決を図りながら学校運営や子供たちの成長につながるサポートができる学校評議員（会）のあり方を考える必要がある。

3) 重要な課題である非常勤職員が正規職員より多い現状について、難しい問題であると思われるが、改善できるよう粘り強く町当局に働きかける必要がある。

町当局との協議では、財政的理由等から正規職員の増加は難しい状況です。今後は会計年度任用職員の比率が高い人員体制の中で提供する教育サービスの質を向上させるために、各職種に応じた資質向上の研修について、教育委員会で検討してまいります。

4) 学校再編に関する情報公開については、新中学校がよりイメージできるようコンセプトや校歌、制服、運動着の制定等、ソフト面の積極的な公開をする必要がある。

新中学校開校準備委員会により、新中学校に関する校歌、制服、運動着等、ソフト面の協議については令和4年度からの協議を予定しています。協議結果は町の広報、ホームページ、ソーシャルネットワークサービス等の媒体により積極的に公開してまいります。

5) スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーに関する制度の周知方法について保護者にもわかりやすい、活用しやすい案内方法を検討する必要がある。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点等から、教育委員会の事務職員等が評議委員会に参加できませんでした。新型コロナウイルス感染の感染状況に応じて、出席する方法等を考えてまいります。また、年度内の評議委員会で集約された意見については、教育委員会で共有し、次年度以降の学校運営及び事業改善につながるよう協議してまいります。

4) 重要な課題である非常勤職員が正規職員より多い現状について、難しい問題であると思われるが、改善できるよう粘り強く町当局に働きかける必要がある。

町当局との協議では、財政的理由等から正規職員の増加は難しい状況です。今後は会計年度任用職員の比率が高い人員体制の中で提供する教育サービスの質を向上させるために、各職種に応じた資質向上の研修について、教育委員会で検討してまいります。

5) 学校再編に関する情報公開については、新中学校がよりイメージできるようコンセプトや校歌、制服、運動着の制定等、ソフト面の積極的な公開をする必要がある。

新中学校開校準備委員会により、新中学校に関する校歌、制服、運動着等、ソフト面の協議については令和4年度からの協議を予定しています。協議結果は町の広報、ホームページ、ソーシャルネットワークサービス等の媒体により積極的に公開してまいります。

6) スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーに関する制度の周知方法について保護者にもわかりやすい、活用しやすい案内方法を検討する必要がある。

利用者向けのフローチャートやQ&Aを含めて、制度を活用しやすいよう参観日等、保護者の来校日に合わせて保護者に制度の周知や理解が行き届く案内方法を検討してまいります。

6) 青少年の自主活動グループ（ボランティアやまちづくり活動）が活動できる場所、支援する場所として図書館を利用できれば、青少年の利用増加に繋がると考えられるので、青少年にもわかりやすい、活用しやすい案内方法を検討する必要がある。

令和3年度は高校生を対象とした藍染展や美術展で町民ギャラリーを利用いただきましたが、自主活動グループの利用とまでは至っておりません。今後は、学校を通じた図書館の利用案内書の配布、ソーシャルネットワーキングサービスを通じた図書館の活用事例の発信等により、青少年が図書館を積極的に活用できるように努めてまいります。

7) 学び支援コーディネーターの配置については、学校単位だけでなく、図書館での配置も検討する必要がある。

この事業については、後継事業の在り方を含めて教育委員会で検討をしていませんので、今後検討してまいります。

## (2) 評価委員会から指摘のあった課題と改善策

1) 学力向上支援員について、未設置となっている学校が一部にあるので、すべての学校に配置とすることが必要である。

学力向上支援員の採用については、教員免許の保有者で、科目や経験を限

利用者向けのフローチャートやQ&Aを含めて、制度を活用しやすいよう参観日等、保護者の来校日に合わせて保護者に制度の周知や理解が行き届く案内方法を検討してまいります。

7) 青少年の自主活動グループ（ボランティアやまちづくり活動）が活動できる場所、支援する場所として図書館を利用できれば、青少年の利用増加に繋がると考えられるので、青少年にもわかりやすい、活用しやすい案内方法を検討する必要がある。

令和3年度は高校生を対象とした藍染展や美術展で町民ギャラリーを利用いただきましたが、自主活動グループの利用とまでは至っておりません。今後は、学校を通じた図書館の利用案内書の配布、ソーシャルネットワーキングサービスを通じた図書館の活用事例の発信等により、青少年が図書館を積極的に活用できるように努めてまいります。

8) 学び支援コーディネーターの配置については、学校単位だけでなく、図書館での配置も検討する必要がある。

この事業については、後継事業の在り方を含めて教育委員会で検討をしていませんので、今後検討してまいります。

## (2) 評価委員会から指摘のあった課題と改善策

1) 学力向上支援員について、未設置となっている学校が一部にあるので、すべての学校に配置とすることが必要である。

学力向上支援員の採用については、教員免許の保有者で、科目や経験を限

定的にせず、幅広い分野から経験や知識がある人材の活用ができるよう工夫してまいります。

2) 町内の学習関連の事業者と連携し、放課後や長期休業中の学習サポートができる体制を検討する必要がある。

関連事業者の調査、学校との連携の在り方の可能性等を含めて、教育委員会で検討してまいります。

3) ADHDについては、社会的自立に向けた指導を行う必要があるため、特別支援教育支援員を対象としたADHDの自立活動の指導に特化した研修の実施による知識、技術の習得に加え、年間計画を立案した上で、自立活動の支援の活動を計画的に実施する必要がある。併せて、幼稚園において、就学前における障害の早期把握と適切な支援ができるよう医療機関と連携することで、美里町による発達検査の機会の提供を検討する必要がある。

ADHDの社会的自立に向けた指導ができるよう、特別支援教育支援員を対象としたADHDの自立活動指導に特化した研修の実施、年間計画に基づいた自立活動の支援を計画的に実施してまいります。併せて、関係する医療機関の調査、連携の在り方を含めて、美里町による発達検査の機会の提供可能性について、教育委員会で検討してまいります。

定的にせず、幅広い分野から経験や知識がある人材の活用ができるよう工夫してまいります。

2) 町内の学習関連の事業者と連携し、放課後や長期休業中の学習サポートができる体制を検討する必要がある。

関連事業者の調査、学校との連携の在り方の可能性等を含めて、教育委員会で検討してまいります。

3) ADHDについては、社会的自立に向けた指導を行う必要があるため、特別支援教育支援員を対象としたADHDの自立活動の指導に特化した研修の実施による知識、技術の習得に加え、年間計画を立案した上で、自立活動の支援の活動を計画的に実施する必要がある。併せて、幼稚園において、就学前における障害の早期把握と適切な支援ができるよう医療機関と連携することで、美里町による発達検査の機会の提供を検討する必要がある。

ADHDの社会的自立に向けた指導ができるよう、特別支援教育支援員を対象としたADHDの自立活動指導に特化した研修の実施、年間計画に基づいた自立活動の支援を計画的に実施してまいります。併せて、関係する医療機関の調査、連携の在り方を含めて、美里町による発達検査の機会の提供可能性について、教育委員会で検討してまいります。